1. 現代英語の特徴

講義「英語史」の魅力

1. 英語の見方が 180 度変わる！
2. 英語と歴史（社会科）がミックスした不思議な感覚の科目！
3. 素朴な疑問こそがおもしろい！(#1093)
4. 現代英語に戻ってくる英語史

英語史の参考文献

1. 英語史概説書など (#1445)
2. 堀田 隆一　『英語史で解きほぐす英語の誤解 — 納得して英語を学ぶために』　中央大学出版部，2011 年.
3. 堀田 隆一　『英語の「なぜ？」に答えるはじめての英語史』　研究社，2016 年.
4. 「hellog〜英語史ブログ」

要点

1. 「現代」英語はどんな言語か？
2. 古い英語と比較してどこが異なるか？
3. 英語史で注目すべき 5 特徴は？

現代英語はどんな言語か？

1. (　　) Vocabulary
2. (　　) Simplicity
3. (　　) Gender
4. (　　) Expressions
5. (　　) Gap

1. Cosmopolitan Vocabulary

1. (　　) (=*The Oxford English Dictionary*) に (　　) 語以上
2. 未収録分を含めると，その数倍
3. cf. ドイツ語は約 (　　) 語
4. cf. フランス語は約 (　　) 語
5. (　　) もの言語から語彙を借用 (##201,202,309,384,429,612,756,845)

6. 借用語中，(　　)語・(　　)語の割合が半分以上
7. 日本語からの借用は約（　）語(##142,2165)
8. 世界一，大規模かつ雑種な語彙構成

2. Inflectional Simplicity

1. 屈折 (　　) とは？
2. 屈折言語 (　　) language とは？
3. 何がどう「単純化」した？

屈折とは？

1. 主として (　　) の変化によって特定の文法機能を果たす働き
2. 文法機能を果たすのに，語順などではなく屈折に依存する割合の多い言語を (　　) 言語と呼ぶ
3. cf. 日本語は, (　　) 言語 (　　) language (#522)

現代英語の名詞の屈折表

	単数	複数
通格	stone	stones
所有格	stone's	stones'

古英語の名詞の屈折表

男性強変化名詞

	単数	複数
主格	stān	stān*as*
(　) 格	stān	stān*as*
(　) 格	stān*es*	stān*a*
(　) 格	stān*e*	stān*um*

人称代名詞の屈折表

1. 現代英語の人称代名詞 (#196)
2. 古英語の人称代名詞 (#180)
3. 文法範疇 grammatical (　　) の区分が粗くなってきた (#1449)

古英語は現代英語よりも屈折的

1. 人称代名詞：単数，複数の他に（　）数 (dual number) も残存
2. 名詞の範疇として，数・格・（　）
3. 動詞の範疇として，複雑な人称・時制・（　）(#931)

3: Natural Gender

1. 言語における 性 gender とは？
2. 自然性（　　）gender vs 文法性（　　）gender
3. 古英語にはドイツ語その他と同様，（　　）性が (##487,1135)

文法性の具体例

1. wīf: 「(　　)」の意で (　　) 名詞
2. wīfmann: 「(　　)」の意で (　　) 名詞 (##223,224)
3. stān: 「(　)」の意で (　　) 名詞
4. lufu: 「(　)」の意で (　　) 名詞

文法性の役割

1. (　　) 詞で受けるとき，stān は “he” で，lufu は “she” で
2. (　) 詞や (　　) 詞で修飾されるとき

現代英語では (　　) 性

1. 個々の名詞ごとに性が決まっていない
2. 名詞が指すものの生物学的な性で “he”, “she”, “it” が決まる
3. 冠詞や形容詞は, 修飾する名詞によって変化しない
4. 「自然」性？ (##1888,1891,1883)

4. Idiomatic Expressions

類義となるように穴を埋めなさい.

1. bring (　　) = nurture
2. come (　　) = discover
3. look (　　) to = superintend
4. stand (　　) = support
5. talk (　　) = persuade

5. Spelling-Pronunciation Gap

1. *climb*, *busy*, *doubt*, *knight*, *indict*, *psychology*, *Thames*
2. 黙字 (　　) letter の存在 (#1290)
3. 種々の不規則性 (#1024)
4. 綴字と発音が 1 対 1 どころか (　　)

Q. <gh> に対応する様々な発音は？

<gh> の綴りを含む単語をできるだけ多く挙げ，<gh> に対応する発音の可能性を複数指摘しなさい．例：*night*, *high*, *though* などでは <gh> の綴字で無音を表わす．

A. <gh> に対応する様々な発音

1. /( )/: ( )
2. /( )/: ( )
3. /( )/: ( )
4. /( )/: ( ) (cf. ##210,1195,2085)

ghoti はどう発音するか？

正解：/(　)/と読む.

1. <gh> = /( )/ in (　　)
2. <o> = /( )/ in (　　)
3. <ti> = /( )/ in (　　) (cf. #15)

Q. /iː/ に対応する様々な綴字は？

/iː/ の発音を含む単語をできるだけ多く挙げ，/iː/ に対応する綴字の可能性を複数指摘しなさい．例：*he*, *me*, *be* では /iː/ の発音を <e> の綴字で表す．

A. /iː/ に対応する様々な綴字

1. <(　)>: (　　)
2. <(　)>: (　　)
3. <(　)>: (　　)
4. <(　)>: (　　)
5. <(　)>: (　　)
6. <(　)>: (　　)
7. <(　)>: (　　)

8. <( )>: ( )

9. <( )>: ( )

10. <( )>: ( )

cf. #2205

現代英語の特徴の「なぜ」

1. なぜ語彙がこんなに雑種になったのか？
2. なぜ屈折が単純化したのか？
3. なぜ文法性がなくなったのか？
4. なぜイディオムがこんなに多くなったのか？
5. なぜ綴字と発音が乖離したのか？

まとめ

現代英語の 5 つの特徴は，最初から英語に備わっていたわけではなく，(　　) のなかで獲得されてきたものである．この獲得の (　　) を記述し，説明するのが，本講義「英語史」の最大の目的である．